

# 釧路町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

釧路町は、北海道の南東部・釧路管内の南部に位置し、令和5年11月30日現在の人口は18,651人、総面積254.15km<sup>2</sup>のうち約3/4を占める山林が広がっており、町内の広範囲に渡り山間集落や漁村集落が点在している。

主要幹線道路は釧路市と根室市を結ぶ国道44号、中標津町へ向かう国道272号、標茶町へ向かう国道391号などがあり、釧路市や近隣町村へ通じる交通手段として幹線交通である路線バス及び鉄道を軸に、町内の広範囲にわたり公共交通網が広がっており、町内及び釧路市内の医療機関や大規模商業施設等への移動手段として、町民の通勤や通学、通院、買い物等の足として重要な役割を果たしている。

一方で、山間部等の一部地域では公共交通空白地域となっており、以前から高校への通学は保護者等の送迎なしには通学することができず、また高齢者等における通院、買い物等の生活交通手段の確保が課題となっていた。

地域公共交通確保維持改善事業の実施により、幹線系統へ接続するデマンド型交通を運行し、高校生の通学、買い物、通院等も含めた住民の生活交通手段の構築を順次進めているところである。

## 地域公共交通の現況

### 【鉄道】

- ・ JR根室本線（花咲線）～ 別保駅
- ・ JR釧網本線 ～ 遠矢駅・釧路湿原駅・細岡駅

### 【民営路線バス】

- ・ くしろバス(株) ～ 町内11路線
- ・ 阿寒バス(株) ～ 町内2路線

### 【民営タクシー】～ 町内3社

## 生活交通確保維持改善計画の目標

### ①昆布森東地区の学生の通学の足の確保【尾幌駅前線】

運行回数:1.5回(上り2便、下り1便)当たりの利用者数 6名

### ②昆布森地域の買い物、通院等における足の確保【昆布森イオン線】

運行回数:1.5回(上り1便、下り2便)当たりの利用者数 2名

### ③別保地域共和地区の買い物、通院等における足の確保【共和別保駅前線】

運行回数:1.5回(上り1便、下り2便)当たりの利用者数 2名

## 協議会開催状況

### ◆令和4年6月24日(通常開催)

・地域内フィーダー系統確保維持計画について協議、承認。

### ◆令和5年3月23日(通常開催)

・地域内フィーダー系統確保維持計画の一部変更(増便)について協議、承認。

### ◆令和6年1月16日(通常開催)

・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について協議、承認。

## 令和5年度事業概要

【尾幌駅前線】・運行区間:昆布森東各集落⇄厚岸町尾幌駅 ・運行便数:月～金曜日/上り(朝)R5.3月まで1便、R5.4月から2便・下り(夕)1便

・実績運行回数:494回 ・輸送人員:1,423人(1便当たり平均乗車人数:2.8人) ・運賃50円～600円

【昆布森イオン線】・運行区間:昆布森全域⇄イオン釧路店 ・運行便数:火・金曜日/上り(朝)1便・下り(昼・夕)2便

・実績運行回数:80回 ・輸送人員:90人(1便当たり平均乗車人数:1.1人) ・運賃:100円～900円

【共和別保駅前線】・運行区間:共和地区⇄別保駅前 ・運行便数:火・金曜日/上り(朝)1便・下り(昼・夕)2便

・実績運行回数:85回 ・輸送人員:135人(1便当たり平均乗車数:1.5人) ・運賃:50円～100円

# 令和5年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

### 【共通事項】

- ・運行ダイヤの設定にあたっては、地域の要望等を聞きながら、接続する路線バス事業者との協議を重ね、利便性が高く効果的な時間帯の設定を行った。
- ・満70歳以上の方を対象とした「いきいきシニアパスポート事業」により、路線バス・デマンドバスを1乗車100円で利用できる環境を引き続き維持し、高齢者の社会参加の促進に努めた。

### 【尾幌駅前線】

- ・令和5年4月から朝の上り便を増便し、厚岸方面への接続を確保することにより、高校生が自宅から通学できる環境の確保に努めた。
- ・昆布森東地区の中学生が進路を検討する上で「自宅からの通学」を選択肢とすることができるよう、対象中学校と連携し、事業周知・意見聴取に努めた。

### 【昆布森イオン線／共和別保駅前線】

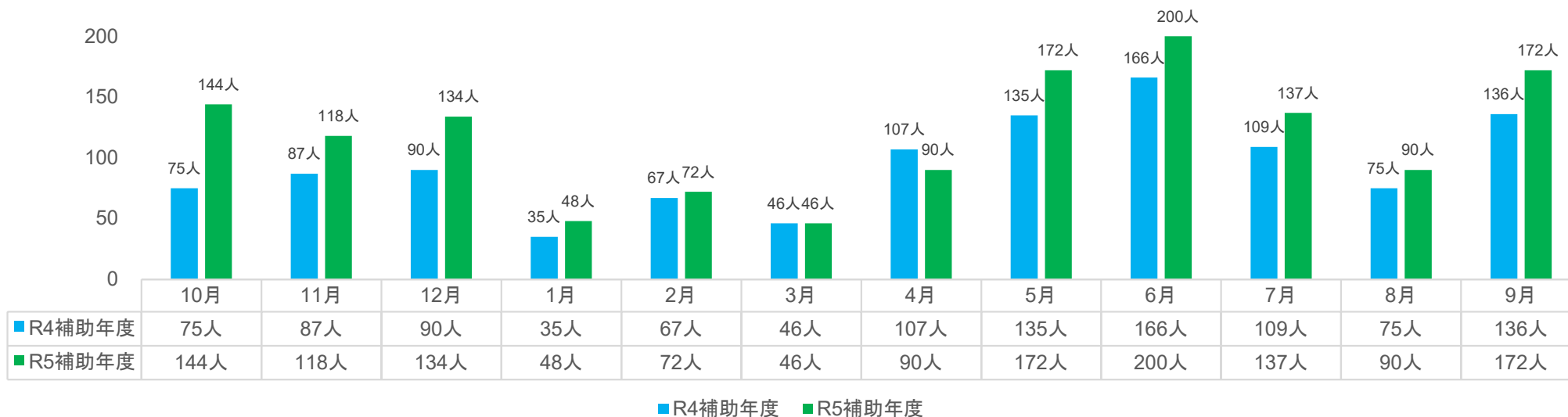
- ・利用実態や地域との意見交換・アンケート結果を踏まえ、令和4年10月から運行日を利用者が最も多い火・金曜日に変更するとともに、共和別保駅前線においては、下りのダイヤを曜日ごとに設定し、利便性の向上を図った。
- ・昆布森イオン線において、地域要望により通院の利便性を高めるため、釧路市白樺台に停留所を新設した。

## 2) 運行系統

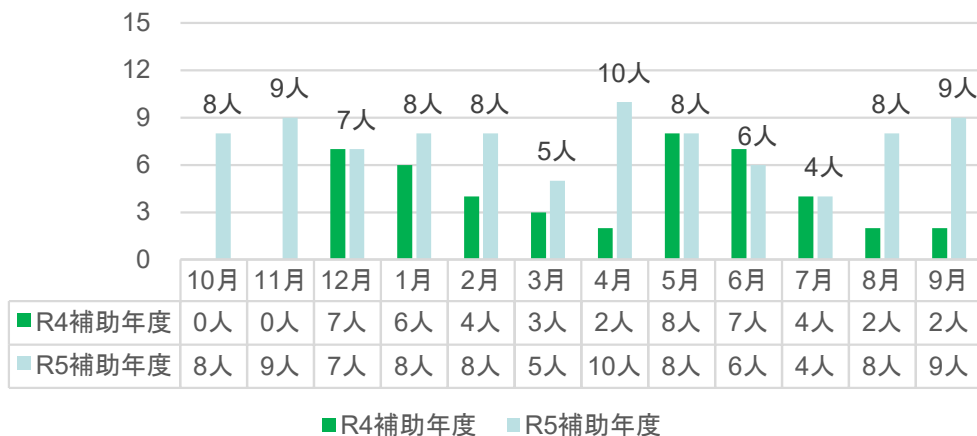


### 3) 利用実績

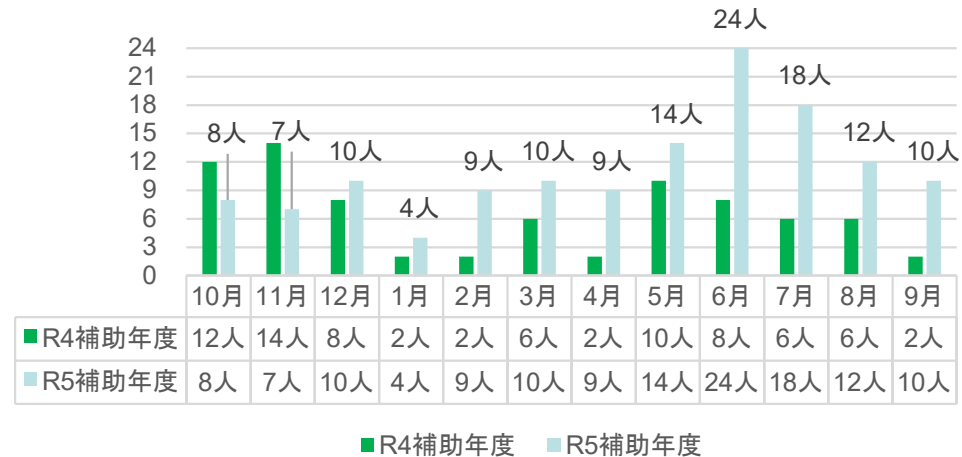
#### 尾幌駅前線 利用実績



#### 昆布森イオン線 利用実績

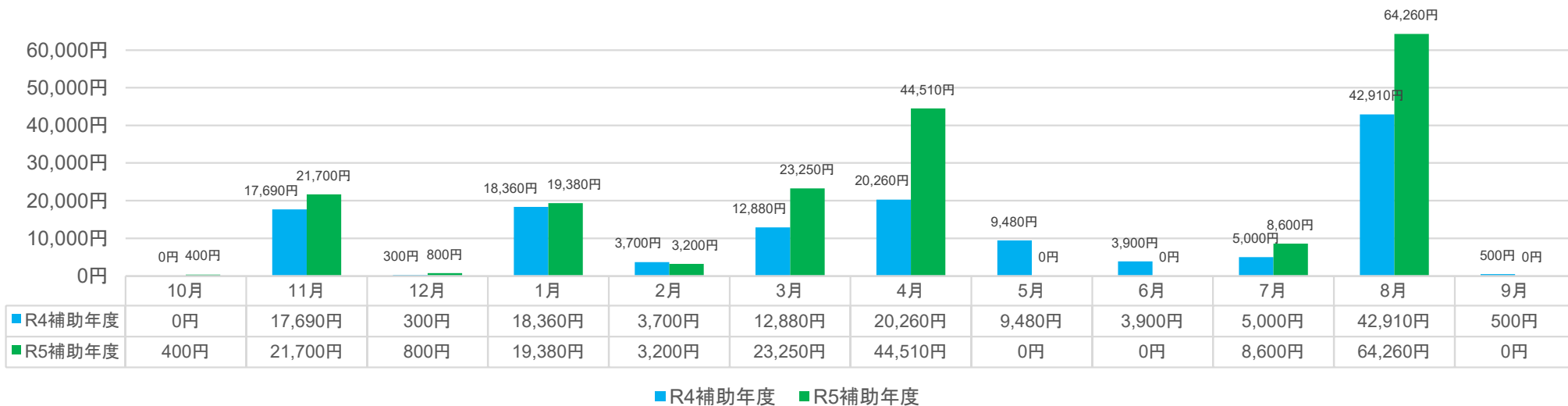


#### 共和別保駅前線 利用実績

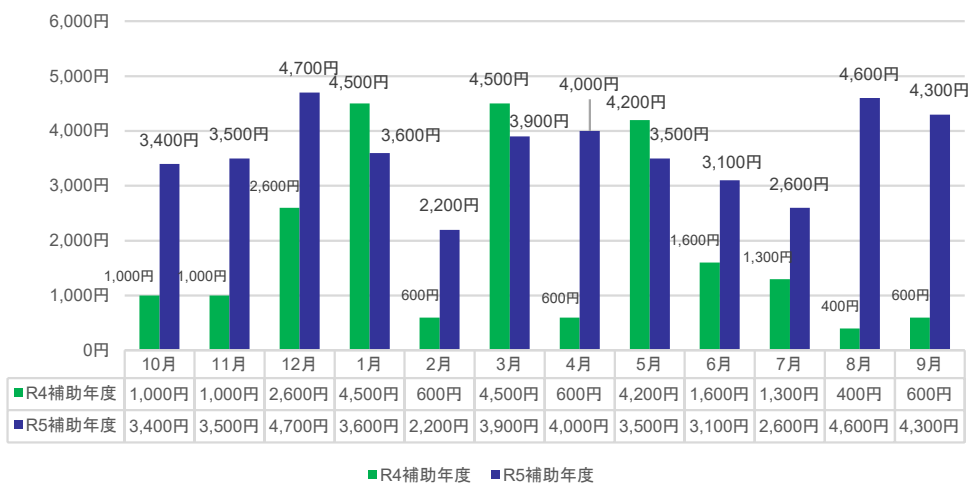


## 4) 収入実績

### 尾幌駅前線 収入実績



### 昆布森イオン線 収入実績



### 共和別保駅前線 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

### 【尾幌駅前線】

運行ダイヤを高校生の登下校の時間帯と合わせることで、昆布森東地区の高校生を自宅から通学可能とした。また高校生以外にも、高齢者等の買い物・通院等の利用があり、生活交通路線としての役割も担うことができた。

### 【昆布森イオン線／共和別保駅前線】

運行地域における高齢者等の買い物・通院等を可能とし、生活交通路線としての役割を担うことができた。

## 6) 目標・効果達成状況

### 【尾幌駅前線】

目標を達成する6.59名/日の通学定期利用があり、高校生の通学の足を確保することができた。また、高校生以外の高齢者等の利用もあり、生活交通路線としての側面も効果があった。

### 【昆布森イオン線】

計画に対する運行率は37%であり、昨年19%から大きく伸びたものの、利用者数は1.69名/日と目標を下回った。

### 【共和別保駅前線】

計画に対する運行率は39%であり、昨年27%から順調に伸びている。利用者数も2.38名/日であり、目標を達成した。

## 7) 事業の今後の改善点

・運行ダイヤの設定にあたっては、引き続き利用者や地域の意見を取り入れながら、接続する路線バス等の運行ダイヤとの整合性を図り、運行ダイヤ改正を行う。

・昆布森イオン線・共和別保駅前線については、利用者が特定少数となっていることから、引き続き対象地域への事業周知を図り、生活交通路線として認識・浸透させることが必要である。

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・ 自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・ 目標を達成できなかった路線もあるが、全ての路線が昨年度の輸送人員より増加しているため、引き続き対象地域への事業周知を行うなど、更なる利用促進の取組を期待する。
- ・ 持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。